

PROJECT FOR SUSTAINABLE LIFE

# albis Green Action



大切な地球を守りつなぐために。

いっしょにはじめよう、つづけよう。



たとえば、ご家庭から回収したトレイやペットボトルをリサイクルして、使用するプラスチック量を減らした『リサイクルトレー』を商品に採用したり、レジ袋やカトラリーを環境にやさしい素材にしたり。

アルビスは、皆さんとともに地球環境を守るための取り組みをはじめています。いっしょだから、できること。いっしょだから、つづけられること。

サステナブルなくらしを応援する「アルビス グリーンアクション」で、大切な地球資源を未来へつなぎましょう。

『アルビスグリーンアクション』プロジェクト

Action  
1  
★

## 太陽光パネルの設置による再生可能エネルギーの導入

2050年のカーボンニュートラルを目指した、温室効果ガス削減の取り組みの一環として、再生可能エネルギーを導入。

2023年1月より、美濃加茂店に「太陽光パネル」を設置します。

2023年  
1月～  
開始



美濃加茂店



設置した太陽光パネル

Action  
2  
★

## お客様にご提供するカトラリーやレジ袋に「環境にやさしい素材」を採用

2022年4月の「プラスチック資源循環法」の施行に伴い、ご希望のお客様にレジでご提供しているカトラリーを環境に配慮した素材に切り替え、プラスチック削減を推進しています。また、2023年1月より、レジ袋のバイオマス配合量を従来レジ袋の10%から50%に仕様変更。石油由来のプラスチック年間約20t削減、CO<sub>2</sub>排出量 年間約90t削減を目指します。

### スプーン・フォーク

バイオマス 25%配合品に切り替えてます。  
月間 23,500g<sup>\*</sup>のプラ削減



### ストロー

プラ製から紙製に切り替えてます。  
月間 17,550g<sup>\*</sup>のプラ削減



カトラリ一年間合計 **492.6kg** のプラ削減

※当社月間平均使用量に基づき試算（2022年3月より切り替え）

### レジ袋

バイオマス50%配合品に切り替えます。

プラ削減量  
年間 約 **20t**

CO<sub>2</sub>削減量  
年間 約 **90t**

を目指します。



新レジ袋（2023年1月～）

※当社年間平均使用量に基づき試算

Action  
3  
\*

## 循環型社会の実現に向けた3Rの推進

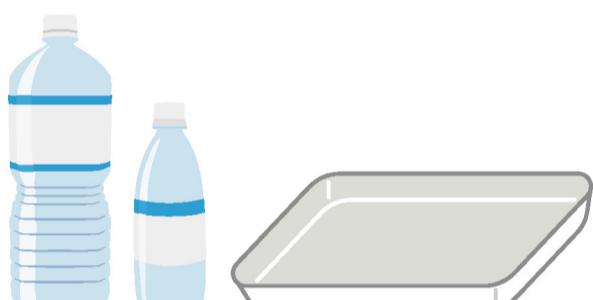
当社店頭では、牛乳パック、空き缶、ペットボトル、トレーの回収を行っています。



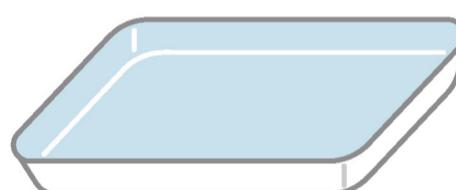
### \*回収したトレー・ペットボトルを環境にやさしい「リサイクルトレー」に再生

店頭で回収した食品トレーやペットボトルは、工場でリサイクルトレーに再生しています。リサイクルトレーの利用は廃棄物と未使用原料の削減、物流コストならびにCO<sub>2</sub>排出量の抑制効果もあります。アルビスではこのリサイクルトレーを積極的に扱うとともに、使用トレーの重量を年間5%削減することを目指しています。

#### リサイクルトレーへのリサイクル



バージン原料と比較して  
CO<sub>2</sub>排出量を**30%** 低減



### \*ペットボトルキャップ・発泡スチロールも再資源化

トレーのほか、店頭で回収したペットボトルキャップを「パレット（荷役台）」等に再利用する取り組みを行っています。また、海産物や青果物の流通容器として使用している発泡スチロールを自社で再資源化処理（インゴット加工）し、環境負荷の軽減や資源の有効活用を促進しています。

#### ペットボトルキャップのリサイクル



#### 発泡スチロールのリサイクル



Action  
4\*

## お客様に向けた「エシカル消費」の普及啓発活動

食品ロス削減に向け、賞味期限間近の商品を集めてお買い得価格で販売するコーナーの設置や「手前どり」の啓発、毎月リレー形式でのフードドライブなどを実施しています。また、お客様に「エシカル消費」への理解を深めていただくための普及啓発活動（「エシカルフェア」）や地産地消の推進にも積極的に取り組んでいます。



店頭「もったいないコーナー」



日配品売場での「手前取り」啓発



親子向け「エシカル消費ミニ講座」



店頭での「エシカルフェア」



地域と連携した「フードドライブ」



地産地消コーナー

その他、環境にやさしい店舗づくりや「省エネ・節電対策」などにも全社を挙げて取り組んでいます。